



独立行政法人 国際協力機構

# EDU-Portニッポン トピックセミナー (幼児教育)

## JICAの幼児教育協力／民間連携事業

2019年10月25日(金)

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第一チーム  
徳田 由美

# 本日の流れ

1. 世界の基礎教育を取り巻く現状と課題
2. JICAの基礎教育協力
3. JICAの幼児教育分野の協力事例
4. 幼児教育分野での民間連携事業の可能性
5. 参考情報

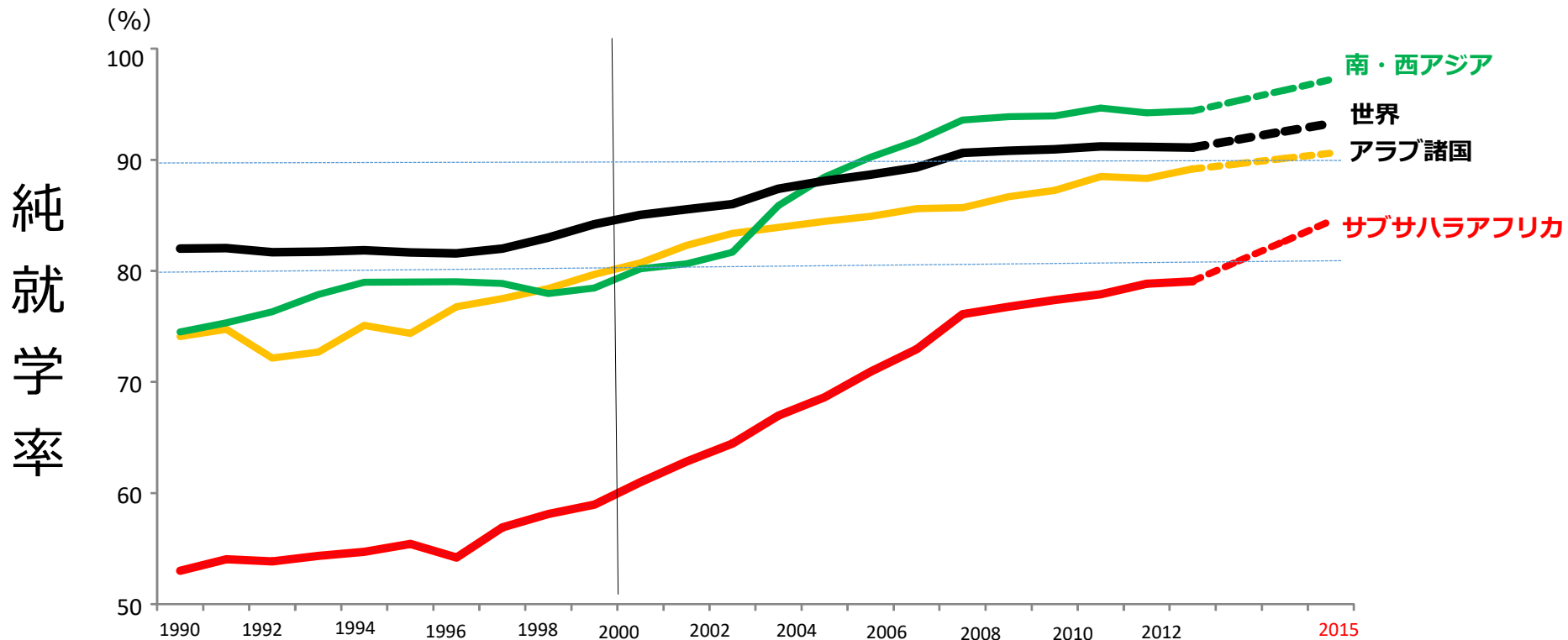


幼児教育を含む

# 1. 世界の基礎教育を取り巻く現状と課題

# 初等教育の進展（1990-2015）

世界の初等教育の就学率は大幅に改善された



# 今、基礎教育の何が問題なのか？

## － 学びの危機 －

6億人の子どもが最低限の学力を身につけていない

- 世界には 学校に通えない子どもが**2.6億人**\*いる
- 学校に通っていない子どもも含めて**6.1億人**\*\*が必要最低限の読解力・計算力を身に付けていない

\*初等教育（小学校）、前期中等教育（中学校）、後期中等教育（高校）

\*\*初等教育（小学校）、前期中等教育（中学校）

出所：UNESCO、2017

# 取り組むべき優先課題

小学校**低学年**の基礎学力の定着、留年・中退率の低下

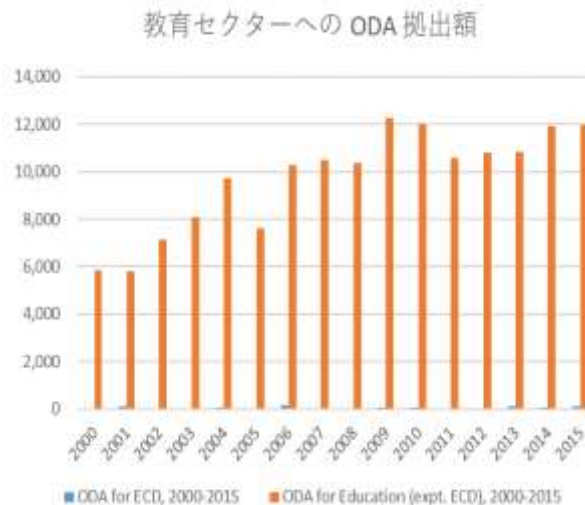
**「子どもの学びの改善」**



実は、小学校入学以前の**乳幼児期**に  
学びの改善の鍵があるのではないか？

# これまでの幼児教育の位置付け

- 1990年代に幼児教育の重要性の認識が高まったが、初等教育の整備が最重要課題であり、**幼児教育は就学準備を補完する形**としての存在意義
- そのため、**幼児教育への財政的措置は極めて少なく**、各援助機関も初等教育に支援をフォーカス（幼児教育への支援は基礎教育全体に対して、僅か0.7%）



# 今、世界で幼児教育が注目されている！

- 脳科学や心理学、経済学等の様々な分野の研究から、乳幼児期の重要性やその時期へのケアと教育効果の有効性が明らかに！
- 具体的には・・・
  - 子どもに対する効果：発達の促進（身体的/社会的/情緒的/知的）、就学準備（レディネス）の向上等
  - 保護者に対する効果：就労機会の増加、保育・教育に対する意識の向上、家庭や地域との連携強化等
  - その他の効果：貧困削減・経済成長、子どもの権利保障等



# 世界の幼児教育の実態は？



## SDG目標4 「質の高い教育をみんなに」

SDG4.2 「2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達支援、ケアおよび就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする」

SDG4.2.2. 小学校に入学する1年前の幼児の就園（学）率  
**68.9%**（2017年）

但し、**小学1年生に「早期入学」している幼児も！**

# 統計データから見えてくる課題

小学校1年生の留年率・中退率が高い

幼稚園（幼児教育課程）が不足



富裕層（教育熱心な）の親は幼児を小学校に入学させる  
貧困層の幼児は、教育の機会なし



**幼児期の発達段階に応じた適切な教育を  
受けられていない**

# 幼児教育の質にも課題

- 幼児教育カリキュラムの未整備
- 教材・遊具の不足
- 幼稚園教員・保育士の養成課程の未整備
- 現職教員・保育士の研修機会の欠如  
(幼稚園教員・保育士の資格制度が不在⇒無資格教員・保育士)
- 国内の地域間格差  
(都市部はアクセス増でパンク状態⇒質の低下)
- 保育の質のモニタリング体制が未整備



## 2. JICAの基礎教育協力

# JICAの教育協力のビジョン

－途切れない学び－

教育はすべての人々が幅広い知識・教養を身につけ、  
豊かな生活を送る上で基盤となる営み



## SDG目標4 「質の高い教育をみんなに」

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、  
生涯学習の機会を促進する



## JICAの教育協力のビジョン

### 「途切れない学び」

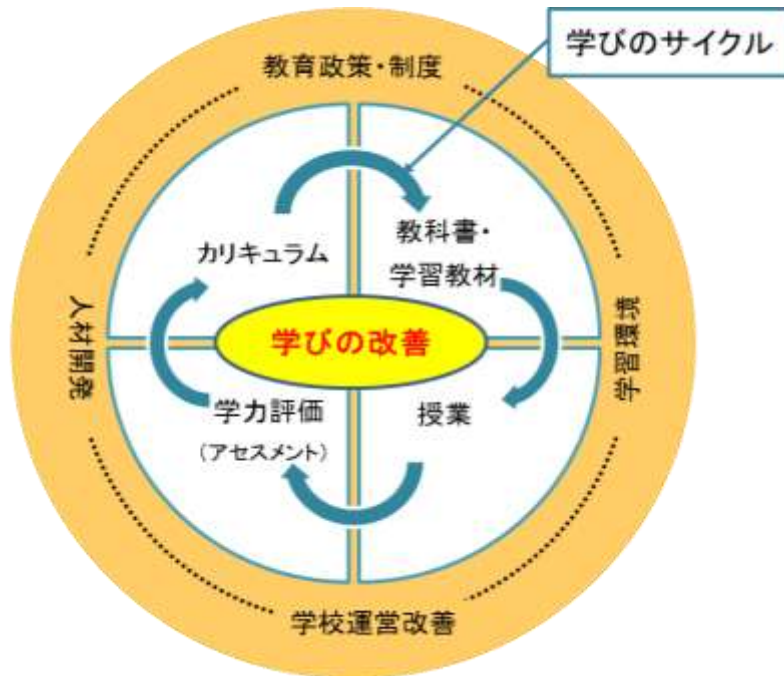
**就学前教育**から初中等教育、職業教育・訓練、高等教育、識字・ノンフォーマル教育にいたるまで、教育セクターを包摂的に俯瞰し、人々のニーズに応じた質の高い「途切れない学び」を実現する協力を展開



# 学びの改善のための総合的なアプローチ

カリキュラムから学力評価までの学びのサイクルを確立し、  
**複数のアプローチを組み合わせ**て成果を出す！

## ＜アプローチの特長＞



- 最終裨益者（子ども）に着目
- 子どもの学びの改善にフォーカス
- カリキュラムからアセスメントまでの「学びのサイクル」の一貫性を重視
- 複数のアプローチ（教育政策・制度、学習環境、学校運営改善、人材開発）を組み合わせることで成果を出す

# アジア・中東・中米地域



## ★産業人材育成の下支えとなる基礎学力の定着に向けた教科書開発アプローチ

ミャンマー、ラオス、パプア・ニューギニア、パレスチナ、中米

## ★地域の課題に応じた案件実施

レバノン : シリア難民児童への支援

南アジア : 低い就学率や識字率への対応、ジェンダー視点

## ★就学率向上の影で取り残されてきた障害児への支援

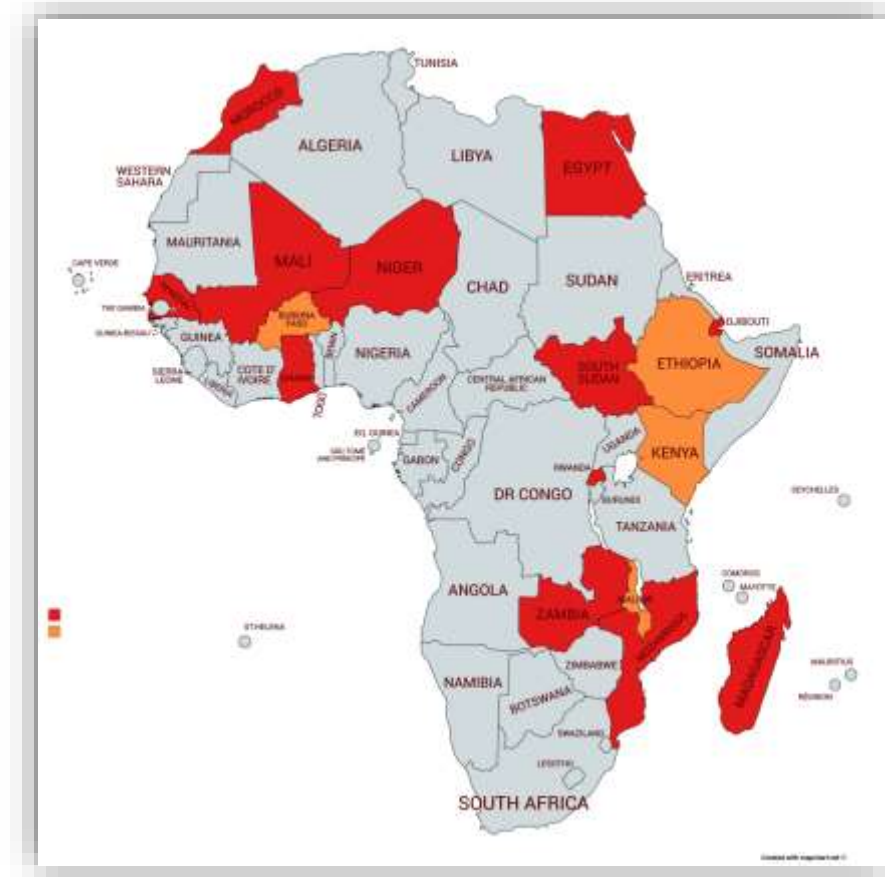
モンゴル・アフガニスタン・スリランカ : 障害児への質を伴った就学支援

# アフリカ地域

★学校運営改善、読み書き・算数・理科

ニジェール、マダガスカル、  
セネガル、ザンビア、エチオピア、  
マラウイ、ケニア、モザンビーク、  
ルワンダ、モロッコ、ジブチ、  
ガーナ、ブルキナファソ、マリ  
南スーダン、南アフリカ

★日本式教育の導入、**保育の質向上**  
エジプト





# 今後、強化していくべき事業分野①

- **教育課程内の学びの質の向上**

子どもの学びの改善アプローチの追求

→教科書・教師用指導書・教材開発、アセスメントなど

- **教育課程外の学びの機会の提供**

NFE (Non-Formal Education)、補習、自学自習教材の開発

→E-Learningなど

# 今後、強化していくべき事業分野②

- **インクルーシブ教育**

障害児、少数民族、難民

- **理数科以外の教科教育**

音楽、図工、体育、情操教育

- **教科教育以外**

特別活動（非認知能力の育成）、キャリア教育

- **幼児教育**

カリキュラム開発、教材開発、

保育者養成、現職教員研修、幼稚園運営 など



## **3 . JICAの幼児教育分野の協力事例**

# JICA SDGsポジションペーパー

## 「ゴール4（教育）達成に向けたJICAの取組方針」

（2016年9月）

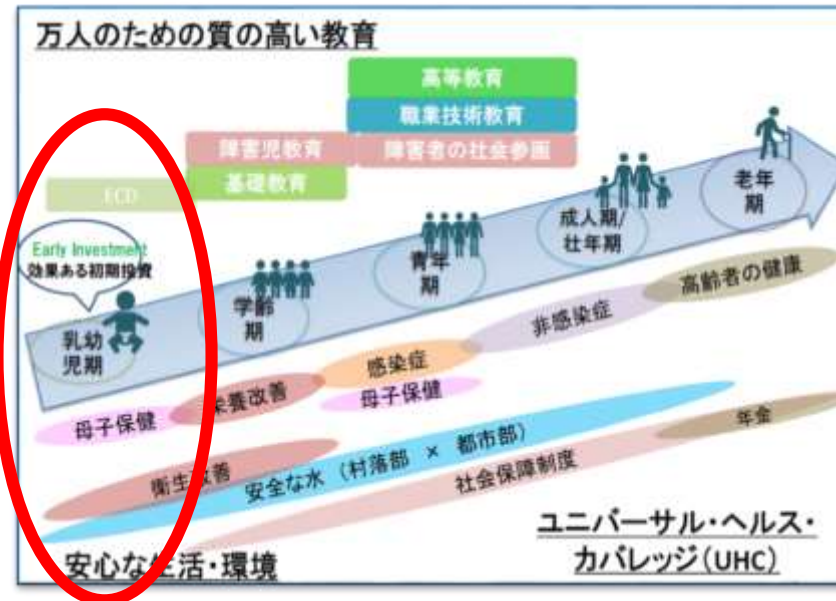
### 3. 重点的取り組み

#### （1）子どもの学びの改善

「・・・・・就学前教育については、乳幼児の発達・ケア等に係る保健分野の協力とも連携しながら、「遊びを通じた学び」を大切に、小学校との連携を意識した支援を強化していく。」

# JICAの幼児教育協力の基本的な考え方

- JICAの事業戦略(2018)では、乳幼児期を「子どもの長期的発達への重要性を踏まえて今後意欲的に取り組むターゲット」として位置付け  
⇒「人間」を中心に捉えて、保健・栄養なども含めた  
**マルチセクトラルな視点**での支援



# JICAの幼児教育協力の主な特徴

- 幼児の興味・関心や主体性を尊重
- 幼児の自発的活動としての「遊び」を「心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習」と捉え、その実践を重視
- 幼児の発達を包括的に捉え、生活や学びの中で**認知能力と非認知能力の双方を総合的に育成**
- 幼児期における集団生活への参加が、自律・協同の精神の育成や道徳性の涵養に繋がる⇒イスラム諸国の関心が高い



# これまでの協力実績・代表事例①

- **海外協力隊（幼児教育隊員）** ⇒累計**898名**  
(2019年10月15日現在、**11**か国に**20**名を派遣中)



- **技術協力プロジェクト**

- ・**エジプト「就学前の教育と保育の質向上プロジェクト」**（2017-2020）  
⇒海外協力隊（幼児教育隊員）のチーム派遣からJICA初の保育分野の技術協力プロジェクトに発展  
⇒「遊びを通じた学び」の実践による保育の質の向上
- ・**ニジェール「みんなの学校」フェーズ1&2**では、コミュニティ幼稚園のモデル構築・普及に取り組んだ事例あり

# これまでの協力実績・代表事例②

## ➤ 課題別研修

- 「乳幼児ケアと就学前教育（アフリカ・中東）」（2018-2020）

※2006年から継続実施

お茶の水女子大学 文教育学部 人間社会科学科

- 「乳幼児ケアと就学前教育（アジア）」（2018-2020）

※2018年度に新規開設

広島大学 大学院 国際協力研究科

⇒就学前の子どもの栄養や健康などを含めた総合的な発達支援を重視する日本の事例を学び、**日本で得た知識・経験を自国の関係者へ還元**することを通じて、乳幼児ケアと就学前教育の改善に貢献





# これまでの協力実績・代表事例③

## ➤ 草の根技術協力

- **インドネシア「中部ジャワ州の幼児教育におけるインクルーシブ教育実践モデル形成事業」**（2017-2019）

⇒対象6園でのインクルーシブ教育実践モデルの形成

- **カンボジア「バタンバン州の公立幼稚園における幼児教育・保育の質の改善事業」**（2016-2019）

⇒シャンティ国際ボランティア会、静岡県、社会福祉法人天竜厚生会が連携、現職教員研修を実施

⇒後継案件「『遊びや環境を通じた学び』に基づく幼児教育カリキュラム実践のための基盤構築事業」を2020年4月に開始予定

# これまでの協力実績・代表事例④

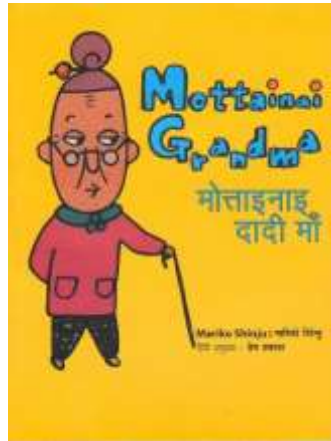
## ➤ 民間連携（BOPビジネス連携促進）

- インド「環境・衛生教育を目的とした絵本の読み聞かせ・販売事業 準備調査」（2016-2019）講談社

⇒絵本「もったいないばあさん」ヒンディー語版の出版

⇒絵本読み聞かせプロモーションを核とした拡大浸透

⇒絵本を活用した環境・衛生教育活動によるインパクト評価も実施



# 今後の幼児教育協力の可能性

- **短期的な取組**：初等教育の協力の中に、幼児教育の支援も取り込んでいく
  - 初等教育の教材開発支援の際に**幼児教育の教材も併せて開発**
  - 学校運営改善支援の一環として小学校に併設される**コミュニティ幼稚園**の協力展開（保健・栄養も含む）
  - 無償資金協力での教員養成校の**付属幼稚園建設**や小学校建設での**幼児教育課程の教室の付設**
- **中長期的な取組**：
  - 乳幼児期からの**インクルーシブ保育**
  - SDGsやHuman Capitalの達成に向けた**開発政策借款**

## **4. 幼児教育分野での 民間連携事業の可能性**

# 日本の民間企業の知見が有益な分野①

## ① 保育園・幼稚園へのアクセス改善と保育の質向上

- 園舎建設・改修
- 園庭や遊具の整備
- おもちゃ（積み木、ブロック、パズルなど）
- 外遊び用遊具（とび縄、ボール、砂場セットなど）
- 絵本、紙芝居、人形劇
- 音楽活動（楽器、歌集など）
- 造形活動（画材、粘土など）
- 食育活動

# 日本の民間企業の知見が有益な分野②

## ② 保育園・幼稚園運営、保育士養成・研修

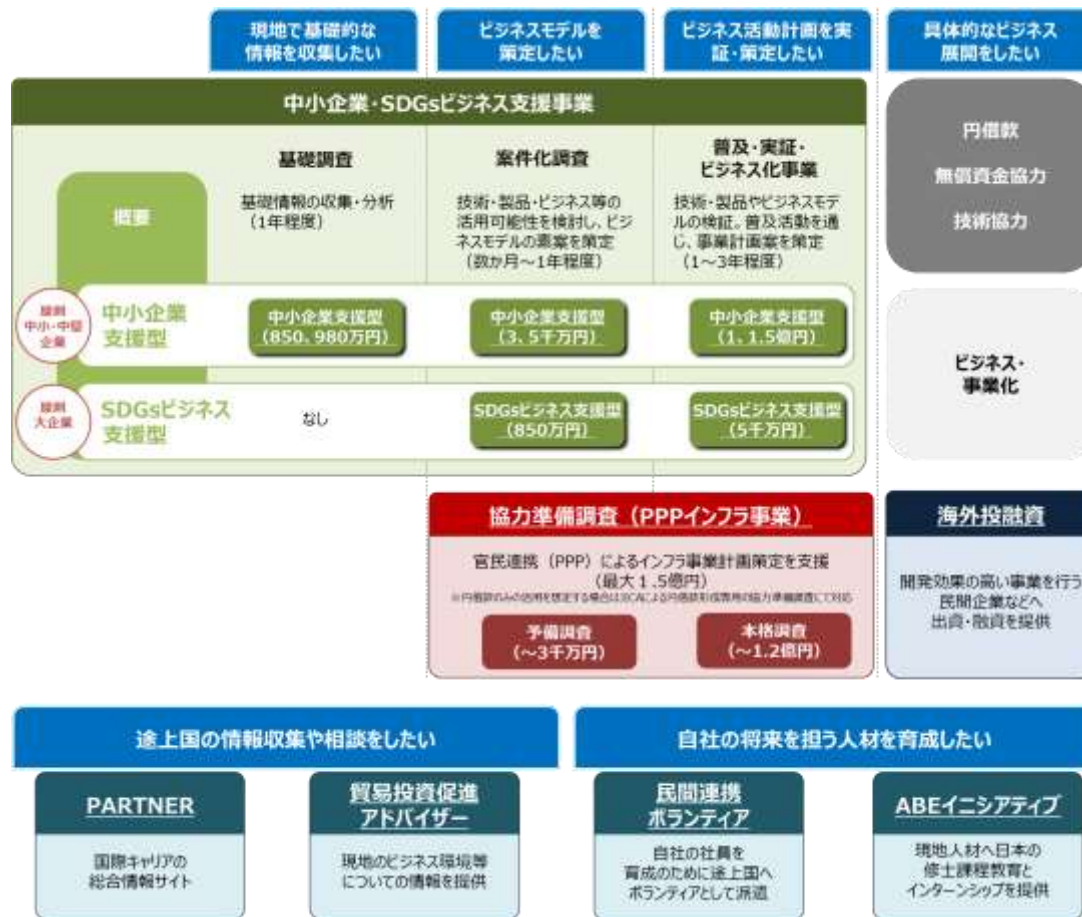
- 保育園・幼稚園運営、インクルーシブ保育のノウハウ
- 保育士養成（PRESET）課程の改善、教材開発
- 現職保育士・幼稚園教諭の研修（INSET）、園内研修、園外研修
- 教材研究（身近なものを活用した保育の素材作り）

## ③ 保育園・幼稚園以外での幼児教育の機会提供

- 富裕層向け幼児教育の収益でBOP層向け事業（人形劇やコンサートなど）実施
- 幼児向けテレビ・ラジオ番組の制作と放送
- こども図書館、児童館、子育て支援センターの設置と運営

# 5. 参考情報

# JICA民間連携事業：事業ステージ毎のメニュー





# JICA民間連携事業ウェブサイト



2

民間連携事業部の  
Facebook公式アカウント  
でも情報提供しています



まずはご相談ください！

## 独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1竹橋合同ビル

- 海外投融資に関するお問い合わせ：海外投融資課  
TEL：03-5226-8980  
電子メール：[ostfd@jica.go.jp](mailto:ostfd@jica.go.jp)
- 協力準備調査（PPPインフラ事業）に関するお問い合わせ：監理課  
TEL：03-5226-6908  
電子メール：[minkanshien\\_os@jica.go.jp](mailto:minkanshien_os@jica.go.jp)
- 中小企業・SDGsビジネス支援事業窓口  
TEL：03-5226-3491  
電子メール：[sdg\\_sme@jica.go.jp](mailto:sdg_sme@jica.go.jp)
- その他、一般的なお問い合わせ：計画・連携企画課  
TEL：03-5226-6960  
電子メール：[sdg\\_sme@jica.go.jp](mailto:sdg_sme@jica.go.jp)



事業・プロジェクト

世界が抱える課題への取り組み

教育

- ▶ 防災教育
- ▶ 水資源
- ▶ カバパルス
- ▶ 平和構築
- ▶ 社会保障
- ▶ 農村交通
- ▶ 国際通信技術
- ▶ 農業・エネルギー
- ▶ 経済政策
- ▶ 民間セクター開発
- ▶ 農業開発/農村開発
- ▶ 自然環境保全
- ▶ 保健
- ▶ ジェンダーと開発
- ▶ 都市開発・地域開発
- ▶ 防災政策
- ▶ 高等教育
- ▶ 教育 - 三島協定
- ▶ 気候変動
- ▶ 災害復興
- ▶ 事業ごとの取り組み
- ▶ プロジェクト・案件一覧

教育



課題の現状

|(1) 教育協力の意義

教育はすべての人が等しく享受すべき基本的権利であり、人間一人ひとりが自らの才能と能力を十分に伸ばし、尊厳をもって生きていくための基盤となるとともに、持続可能な社会・経済発展に欠かせない要素です。また、教育を通じた多様な文化や価値を尊重する態度の醸成は、インクルーシブで平和な社会の基盤となります。

2015年に国連は持続可能な開発目標（SDGs）を策定し、「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という新たな教育目標（SDG4）を掲げました。SDG4は就学前教育から高等教育までの幅広い分野を対象とし、これまで以上に教育の質の保証を追求するという野心的で難易度の高い課題の解決を目標としています。さらに、教育はすべてのSDGsの達成に不可欠であることから、国際社会は教育開発への取り組みを強化しています。

|(2) 教育協力の課題

しかし、世界ではいまだに2.63億人もの学齢期の子どもや若者が不就学の状態にあり（UIS, 2018a）、6.1億人以上の子どもや若者は必要最低限の読能力や計算力を習得していないと推計されています（UIS, 2017）。加えて、貧困、ジェンダー、障害、民族・言語、居住地域などによる格差の問題なども生じており、すべての子どもに対する良質な教育の保障が課題となっています。

また、若年失業率は増加傾向で、2016年には約13.1%に上る状況にあり（ILO, 2016）、職業技術教育・訓練へのアクセス拡大や質の改善が必要とされています。一方、高等教育へのアクセスは着実に向上していますが、引き続きアクセスが偏定的な地域もあり（例えばサブサハラアフリカ地域は2017年の総就学率は9.0%（UIS, 2018b））。また、教員の

# JICAウェブサイト 「教育」

ホーム > 事業・プロジェクト > 教育

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html>

ご静聴ありがとうございました

